

中津市 道路附属物等長寿命化修繕計画



横断歩道橋（是則跨線橋）



大型加幅ト（田口IC函渠）

令和元年 12 月
(令和5年3月一部改訂)

大分県中津市

目次

1. 長寿命化修繕計画策定の背景・目的

- 1) 背景
- 2) 目的

2. 長寿命化修繕計画の対象施設

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

- 1) 健全度の把握の基本的な方針
- 2) 日常的な維持管理に関する基本方針

4. 対象施設の長寿命化及び修繕・再構築に係る費用の縮減に関する基本方針

5. 今後の点検・修繕計画

- 1) 点検計画期間
- 2) 対策の優先順位の考え方
- 3) 施設の状態・対策内容・実施時期（予定含む）・対策費用

6. 計画策定担当部署

7. 道路附属物等長寿命化修繕計画（個別施設計画） 対象施設一覧表

8. 施設位置図

1. 長寿命化修繕計画策定の背景・目的

1) 背景

・中津市が管理する道路附属物等は現在、横断歩道橋が1橋、大型カルバートが1施設あり、特に横断歩道橋については2023年時点で建設後54年を経過する高齢化施設となります。横断歩道橋は鉄道を跨ぐ跨線橋であるため、施設の高齢化により鉄道機能に重大な被害を及ぼす恐れがあり、大型カルバートについても地域高規格道路中津日田道路を跨ぐ施設であるため、維持修繕更新費の増加も懸念されます。

このような背景から、今後、増大が見込まれる道路附属物等の修繕に要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠です。

2) 目的

・道路および鉄道交通の安全性を確保するために、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図ります。

2. 長寿命化修繕計画の対象施設

道路区分	1級市道	2級市道	その他市道	合計
全管理施設数	1	0	1	2
計画対象施設数	1	0	1	2
横断歩道橋施設数	0	0	1	1
大型カルバート施設数	1	0	0	1

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

・健全度の把握については、施設の建設年度等を十分考慮して実施するとともに、下記点検要領にもとづいて定期点検を行い、施設の損傷を把握します。

- ・大分県横断歩道橋定期点検要領
(平成 28 年 7 月 大分県土木建築部道路保全課)
- ・横断歩道橋定期点検要領
(平成 31 年 2 月 国土交通省道路局)
- ・シェッド、大型カルバート等定期点検要領
(平成 31 年 2 月 国土交通省道路局)

2) 日常的な維持管理に関する基本方針

・施設を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール清掃などの実施を徹底します。

4. 対象施設の長寿命化及び修繕・再構築に係る費用の縮減に関する基本方針

1) 老朽化対策における基本方針

・健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本方針とともに、予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕・再構築に係る事業費の大規模化および高コスト化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

2) 新技術等の活用に関する基本方針

・施設の法定点検や修繕等の実施にあたっては、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログ(案)などを参考に、点検・修繕を行う全ての施設で新技術の活用を検討し事業の効率化やコスト縮減を図ります。

3) 集約化・撤去等費用の縮減に関する基本方針

・修繕が必要となった施設について、代替路の有無や利用頻度を踏まえて、集約化・撤去等を検討し、維持管理費用の縮減に努めます。

令和 7 年度までに 1 施設の撤去を実施し、点検・修繕に係る約 250 百万円の維持管理費用削減を目指します。